



## 被災55周年 3・1ピキニ集会ひらく

ピキニ被災から55年目にあたる2009年3月1日3・1ピキニデー集会在静岡県焼津で開かれました。

主催者を代表し、世界大会運営委員の野口代表が「来春のNPT再検討会議にむけて核兵器廃絶のうねりをつくりだそう」と呼びかけられました。『原水爆の被害者はわたしを最後にしてほしい』という久保山愛吉さんの思いを胸に1600人の参加者は核兵器廃絶の誓いを新たにしました。

28日の日本原水協集会で高草木事務局長は、被爆国日本の原水爆禁止運動が全力で取り組む課題として、

「核兵器のない世界を」署名を人口10%、全国1200万筆を達成すること。全国各地で原爆写真展などを開き被爆の実相を普及すること。憲法9条と非核三原則を実行する非核日本を実現する取り組みの強化、すべての自治体を通過する平和行進の成功で、国民的な核兵器廃絶、非核平和の日本を求める圧倒的世論を作ろうと呼びかけました。

海外代表のアメリカフレンズ奉仕委員会のジョセフ・ガインザさんは「核廃絶の動きを阻止しようとする

巨大な勢力と闘い、オバマ大統領が真に核兵器廃絶の立場にたちきるためには草の根の国際的世論で包囲しなければならない」と発言されたことが印象的でした。

左・岡山県代表団 右上・2009年3・1集会 右下・原水協集会



今年の3・1ピキニデー集会上には水島原水協、岡山医療生協労組、協同プランニング労組、玉浅原水協、高梁原水協、平和委員会、笠岡市職労、ソワニエ看学、県人権連、新婦人、県原水協から15人が参加しました。



## 12人が参加して署名統一行動

高梁原水協は3月2日、午後5時30分からJR高梁駅前「核兵器のない世界を」署名行動を行いました。この行動には高梁市職労、医療生協労組、新婦人、共産党、民商、医療生協の6団体から12人が参加、市民、駅利用者に署名を訴えました。三村代表は「みなさんからいただいた署名を持って、みなさんの代表が国連に届けます。」と訴えると、青年が「がんばってください」と署名に応じてくれるなど約1時間の行動で42筆

の署名と、550円のカンパが寄せられました。



上・マイクで訴える三村代表 右・行動終了後の記念撮影

